

2021 年度入試解説

【デザイン適性（描画表現）】

◆出題方針

基礎的な描画をとおして、デザインに対する関心やデザインを学ぶ意欲を確認します。描画表現は、デザインに必要なプロセスであり、アイデアを確認し、人に伝えるためのコミュニケーションツールのひとつです。高校での美術の授業や身近にある日用品を描くなどの練習で解答できる範囲で出題します。

◆出題形式

描画による実技試験は、実際に目の前に置かれたものを描くのではなく、文章や図からイメージして描画する問題です。内容は、問題から描画の対象とその状態（形・大きさ・材質・数・配置など）を読み取り描画する設問や日用品に図柄などをデザインして描画する設問があります。配布される画用紙にイメージする解答を鉛筆や色鉛筆を用いてフリーハンドで描画します。

◆出題内容・設問解説

条件、描画ポイントをしっかり押さえた上で、イメージどおりに表現するために画用紙のどの位置にどのくらいの大きさを描くかを検討します。また、モノの材質感や存在感を考えて、色の重ね塗りを考えたり陰影の強弱などを考えたりしながら仕上げていきます。以下に各出題内容について解説します。